

仙台教区サポートセンター

福島デスクニュース

第16号 2015年7月

作成:仙台教区サポートセンター福島デスク
〒975-0001
福島県南相馬市原町区大町 2-197
fukushima.desk@gmail.com
Tel/Fax 0244-32-1531
080-5872-4447
<http://fukushimadesk.blogspot.jp/>

福島の夏

福島の夏の名物は「桃」。しかし、原発事故による放射線の影響は大きく、全量検査の上、出荷されているのだが、東京都中央卸売市場で取引された市場価格は、震災前を100とすると69にとどまっている。一方、「きゅうり」は震災前比98。苦境をほぼ乗り越えた品目もある。

さて、6月29日から7月1日、東日本大震災仙台教区復興支援の第5回全国会議・視察が開かれ、福島県視察グループ約40名が福島を視察し被災者の声に耳を傾けてくれた。

今号では、夏休みを目前にした高校生の取組を2つ紹介したい。乳幼児への放射性物質の影響は報道されるが、若い世代にも原発事故・震災は強い影響を与えている。

新設「ふたば未来学園」高校野球に単独チームで出場

東京電力福島第一原発事故の影響を受けた福島県双葉郡広野町に、本年4月「県立ふたば未来学園高校」が開校し、県内外から152名が入学した。今は、広野中学校の校舎を本校舎として使用している。

震災前、双葉郡には五つの高校があり1500名が学んでいた。全員が避難を余儀なくされ、県立高校の空き教室などでサテライト方式の授業を続けている。昨年度の5校の生徒数は計337人まで減少し、元の校舎での授業再開のめどが立たず、今年度から募集は停止された。

双葉郡に高校新設が計画されたとき、果たして生徒が集まるだろうか、との声が聞かれた。ところが募集がはじまると、避難先から親元を離れての申し込みがあるほどであった。原発事故と震災からの復興に対して、子どもたちが責任を感じすぎているのでは、との心配も出た。

福島県、特に双葉郡は、原発事故・震災によって、日本各地ですでにあった課題、少子高齢化、過疎化、産業の衰退など、コミュニティが直面する課題がより明確になり「課題先進地域」とまで言われる。ふたば未来学園高校は、双葉郡内の5校の高校の歴史を引継ぎながら、いま、ここにある現実を、少しずつ、少しずつ変えることができる存在として、未来を創造する学校



を目指している。

ふたば未来学園高校の生徒は全員が一年生。夏の甲子園、高校野球大会に11名の部員がチャレンジすることになった。4月の時点では部員2名。大会出場のために部員を集め、ユニフォームを新調した。

7月9日、福島県大会の開会式に臨んだ。目標は初戦突破である。

福島高校スーパーサイエンス部

「被ばくの現状を正しく伝えたい」個人放射線量の測定比較を実施

福島で生きる自分たちの現状を正確に知りたい。福島高校の一人の生徒が、そう思うようになったのは、ある体験であった。原発事故後、家族で海外に行ったとき、福島から来たと伝えた途端、哀れむような態度をとり十字を切って祈られた。本当に正しい知識があって「福島」という言葉に対してそのような反応をしたのだろうか、正しい情報を知ってもらいたい、と考えスーパーサイエンス部に入り放射線について調べることにした。数値を知って、その上でリスクを判断してもらいたい。スーパーサイエンス部の役目は、正しく知ってもらうことだ。

2014年6月、福島高校の生徒6名は、日本、フランス、ポーランド、ベラルーシの12の高等学校の生徒と教員210名と、外部被ばく個人放射線量を測定比較する研究に参加した。使用した線量計 D-shuttle は1時間単位で線量を記録することが可能であり、各自の行動記録と照らし合わせることにより、



屋外と屋内、学校と自宅、そして地質の違いによる放射線量の違いを検証することができる。個人放射線量は過小評価という主張が一部あるなかで、同じ線量計を用い、世界各地の個人線量を比較した。その結果、福島の個人線量は国内外各地とほとんど変わらない、という結論に達した。

2015年3月、International Meetings of Radioprotection がフランスで開催され、福島高校の代表3名が研究成果を発表した。フランスをはじめ、モロッコ、ドイツ、モルドバ、ベラルーシなどから高校生120名、教員・研究者など20名が参加した。福島高校は、二つのテーマ、福島の高校生の個人被ばく線量を国内外の高校生と比較したもの、福島の困難の一端をわかりやすく示したもの、について発表した。

上の写真は全体発表。下の写真はポスター発表。右図は「自然放射線の寄与を含む」年間線量（追加線量ではない）ほとんどが1 mSv/年未満。

「福島県立福島高等学校 HP」より

